

大腸カプセル内視鏡検査の説明と同意書



【はじめに】

大腸カプセル内視鏡とは、幅 11.6mm 長さ 31.5mm のカプセル型で、自分で口から飲み込み、通過する消化管を撮影することができる内視鏡です。カプセル内視鏡を用いた大腸検査は、通常の大腸内視鏡検査の施行が痛みや手術後の癒着などで困難な場合のみ保険適応です。

大腸内視鏡検査が恥ずかしい・怖い・痛いなどの理由で行わなかった方の大腸疾患の観察・診断にも有用ですが、この場合は自費診療となります。

カプセルを飲めない方や電気医療機器が埋め込まれている方には使用できません。

【検査方法】

便秘の方は下剤内服や検査前日の検査食摂取を勧めます。

検査前日： 20 時から絶食をお願いします。透明な水分の摂取は可能です。就寝前(22 時頃)に下剤を内服してもらいます。

検査当日：

6 時に普段の内服薬を飲んでください。

8 時 40 分に来院し、約 2 時間かけて下剤約 20 内服します。

11 時頃、センサアレイ・レコーダを装着し、カプセル内視鏡を飲み込みます。同時にひまし油 30ml 内服・プリンペラン（腸蠕動亢進薬）を筋肉注射します。

12 時頃、カプセル内視鏡が小腸に到達したのを確認した後にカプセル内視鏡を流すために下剤 10 内服します。

13、14 時頃もカプセル内視鏡を流すために適宜下剤 500ml や錠剤内服・座薬挿入など相談しながら行います。

（座薬使用は御自身で挿入も可能です。）

カプセル内視鏡が自然排泄されると検査終了です。

（排泄されない場合は浣腸や大腸内視鏡が必要になる場合があります。）

可能ならカプセル内視鏡は回収します。トイレに流しても問題はありません。

【注意】

・カプセル排泄が確認されるまでは MRI 検査を受けないで下さい。MRI 検査中にカプセル内視鏡の金属が人体に悪影響を及ぼす可能性があるためです。

・検査中は無線や電子機器など電磁波がある所には近寄らないで下さい。また激しい運動や腰を強く曲げる動作も避けて下さい。

・検査中または検査後に吐き気・腹痛・嘔吐などを催した場合やレコーダーのアラーム音が鳴り続けた場合には連絡ください。

【合併症(偶発症)】

合併症としてカプセルが排出されないこと（滞留）があります。どうしても排泄されない場合には内視鏡によりカプセルの摘出を行うか、腸閉塞の症状を伴う場合には腹腔鏡手術や開腹手術など外科的処置が必要となります。

上記の内容を理解し、同意いたしました。

平成 年 月 日

氏名 _____ 印

【連絡先】

センター南駅前 内科おなかクリニック（平日、昼） TEL 045-507-7522

（休日、夜間）携帯 070-4284-9665